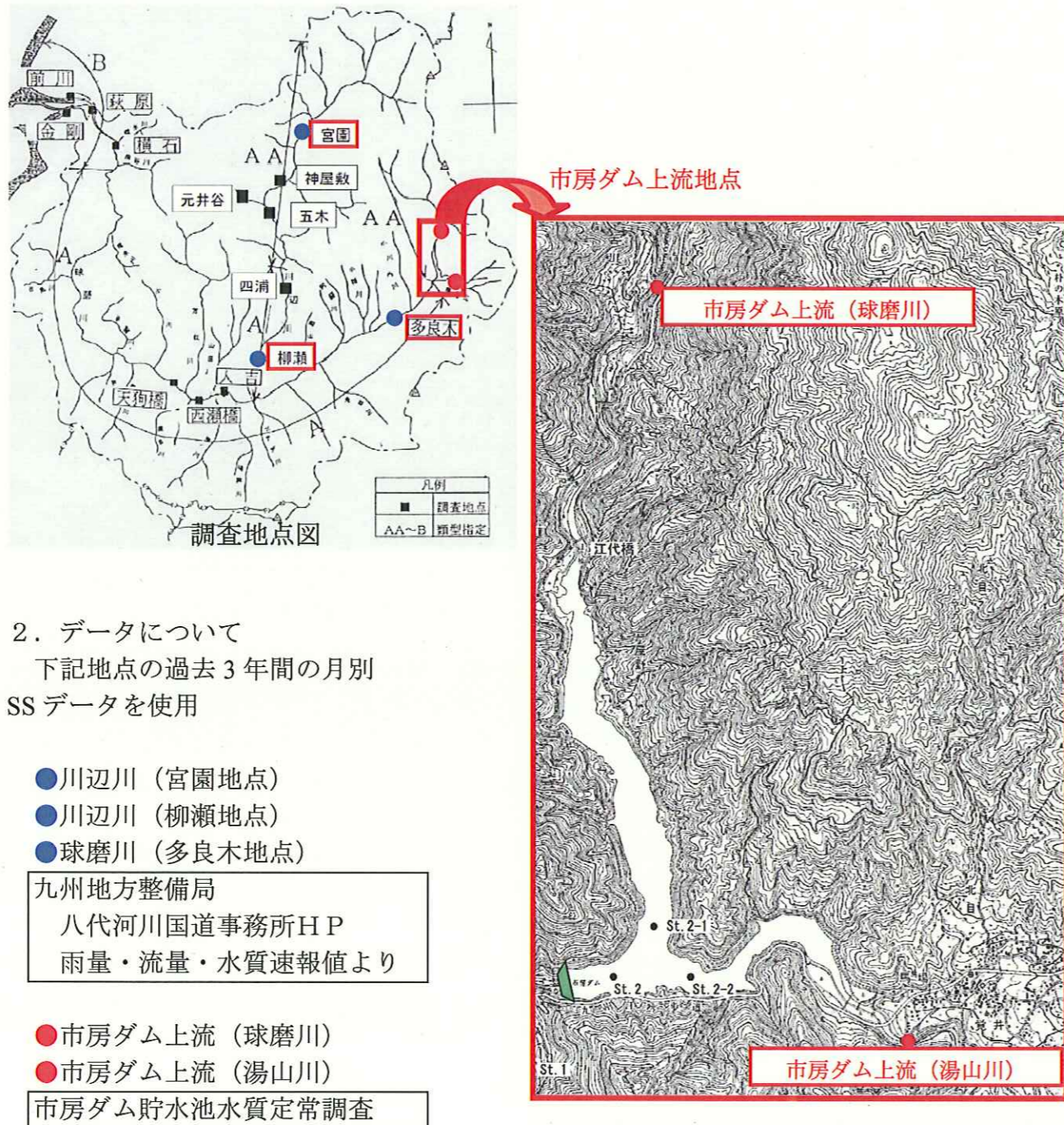


### 3. 川辺川と球磨川の濁りについて

川辺川と球磨川の濁りについて、既存データを整理した。(8頁に掲載)

1. 水質調査地点について



2. データについて

下記地点の過去3年間の月別SSデータを使用

- 川辺川 (宮園地点)
- 川辺川 (柳瀬地点)
- 球磨川 (多良木地点)

九州地方整備局  
 八代河川国道事務所HP  
 雨量・流量・水質速報値より

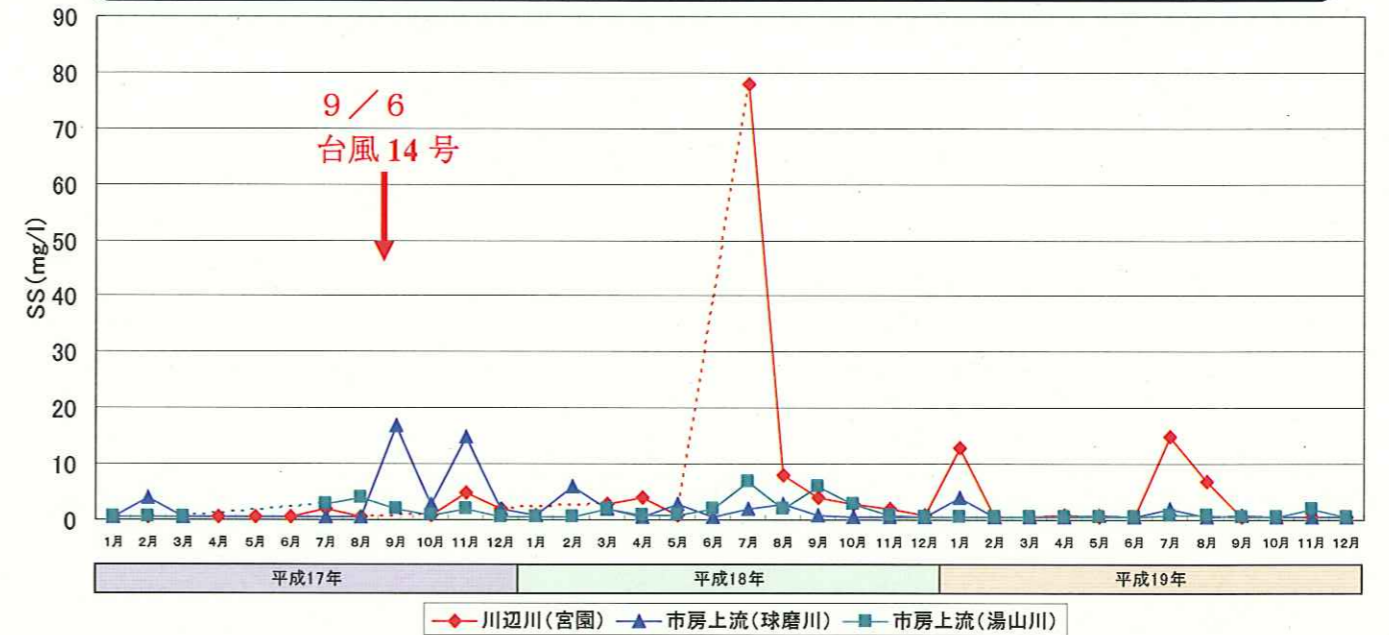
- 市房ダム上流 (球磨川)
  - 市房ダム上流 (湯山川)
- 市房ダム貯水池水質定常調査

- \*) 国土交通省調査のデータと市房ダム地点のデータは、調査日時が異なります
- \*) 調査については、比較的流況が安定した日を選んで実施しています
- \*) 河川におけるSSの環境基準値はAA~B類型において25mg/l以下と定められています

3. 濁りの違いについて

3-1. 川辺川上流部と市房ダム上流部

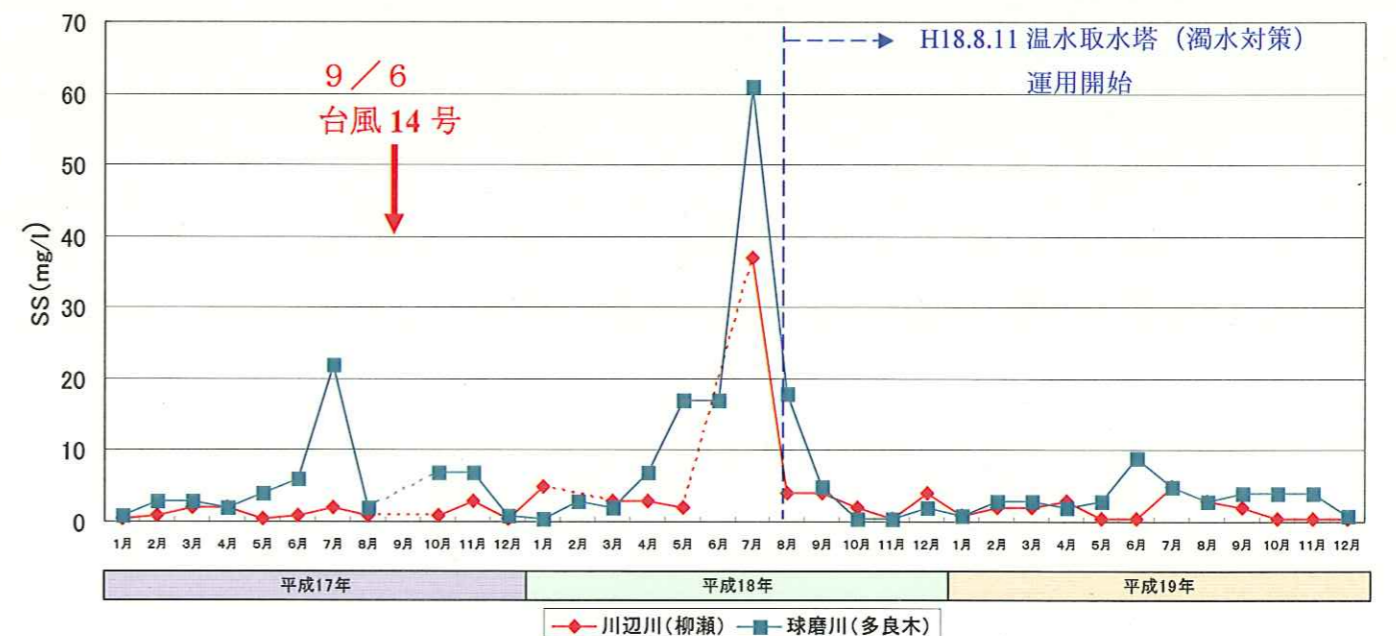
川辺川 (宮園) と市房上流の2地点については調査日が異なるが、両者ともSSは年間を通して概ね5mg/l以下で推移している



- \*川辺川(宮園)と市房上流の2地点については調査日時が異なる
- \*調査については、比較的流況が安定した日を選んで実施している
- \*データ欠測月については波線にて補間表示している

3-2. 川辺川 (柳瀬) と球磨川 (多良木)

市房ダムが温水取水塔の運用を開始した平成18年8月以降、市房ダム下流 (多良木) の濁度は比較的安定しているが、今後モニタリングが必要



- \*調査については、比較的流況が安定した日を選んで実施している
- \*データ欠測月については波線にて補間表示している